「XF24」で10階建てが可能に

石膏ボード重ね張りにも対応

ネットイーグル

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は、5月に発売する2×4プレカット・パネルCAD「XF24」のバージョンアップ版V26で、10階建てまで入力できる範囲を拡大する。従来は4階建てまでだったが、軸組、大断面、CLTなどを加工する非住宅プレカットCAD「XF15」では10階建てに対応しているため、2×4工法でも対応できるようにした。石膏ボードオプションを使えば、耐火構造で求められる強化石膏ボード2枚（3枚）張りも入力できる。

オプションで耐火構造も

XF24は2×4工法向けのプレカットCAD／CAMシステムで、床、壁、屋根の一体設計と全自動プレカットが特徴。

オプションで同CADと直結連動する構造計算（許容応力度計算）システム「NSC24」があり、構造設計から構造計算、木拾い積算、タルキの3次元加工内容が完全に一致する。特に2×4工法は4月の改正建築基準法の施行により、アパートの多くが構造計算の対象になることから、同社CADへの2×4住宅会社やコンポーネント会社の関心が高まっている。

XF24、NSC24とも面積制限がなく、XF24は5階建て以上（NSC24によるルート1の許容応力度計算は3階建てまで）にも対応したことで、現状想定されるあらゆる規模と階層の2×4建築の入力、加工に対応できる。

非住宅中大型木造建築物では多くの場合、耐火構造が必要となり、階層別では最上階から4層までは1時間耐火、5層以上は90分耐火、10層以上は2時間耐火が求められる。

大臣認定仕様では1時間耐火で強化石膏ボード2枚張り、90分、2時間耐火では3枚張りが必要になるケースが多いが、同社は、住宅向けの2×4パネルで石膏ボードを取り付けたいというニーズを受けて、オプションで石膏ボードの入力に対応している。これを使えば、強化石膏ボード2枚（3枚）張りも入力でき、外壁と間仕切り壁の取り合い部の収まりも容易に確認できる。石膏ボードは積算、加工図の出力も可能で、必要ならプレカットもできる。

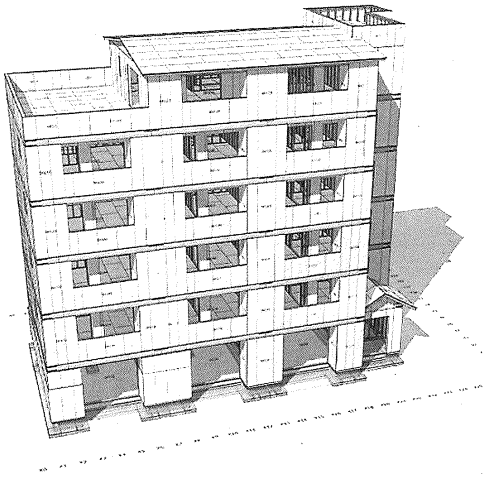
BIMとの相互連携も可能に

同社は非住宅木造建築向けプレカットCADの開発に力を入れており、軸組、大断面、CLTを加工するXF15では10階建てに対応している。2×4工法では住宅、非住宅とも同じXF24で設計するため、10階建てまで対応した。

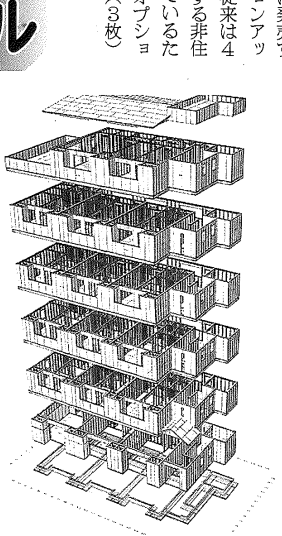
非住宅ではBIMとの連携ニーズも多く、同社ではXF24を含むすべてのCADで「IFCデータ出力、読込システム」を開発している。BIMは、意匠、構造、設備などのデータを集約して3次元情報で一括管理する仕組み。木造建築では非住宅・中大型建築を中心に活用に向けた取り組みが広がりつつあるほか、住宅でもアパートは設備との干渉を気にする会社が多く、非住宅とアパートで先行してBIMの流れが広がっていくとみている。

IFCデータ出力システムを使えば、BIMの標準フォーマットであるIFCデータを直接出力でき、様々なBIMソフトとのデータ連携が可能になる。一方、IFCデータ読込システムを使えば、BIMソフトから読み込んだIFCデータを同社CADの3次元パースで表現し、必要な部材属性に変換してプレカット加工できる。

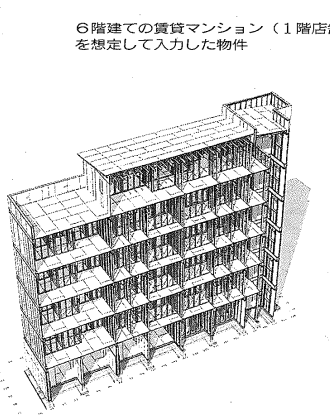
規模の大きい非住宅を紙で受け取る図面を基に一から入力するのは容易ではない。BIMソフトで作成した図面データを同社のCADで読み込めれば、プレカットの入力作業も効率化できる。また、同社のCADで入力した構造データをBIMソフトに渡せれば、意匠図との整合性や設備との干渉も3次元データで確認できる。



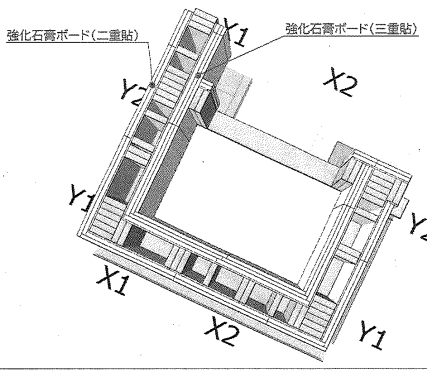
6階建ての賃貸マンション（1階店舗）を想定して入力した物件



スライドパース



断面パース



強化石膏ボード重ね張りも入力できる

問われる『総合力』差別化へ
［自社開発］構造計算エンジン搭載！
構造計算システム（許容応力度計算・ルート1）
NSC15／NSC24／NSC-Xstar
2025年4月
準備OK？
技術革新！
イノベーション
ネットイーグルCADは法改正に完全対応しています。
壁量・偏心率・N値計算／性能評価計算／構造計算／省エネ計算／BIM連動
NET EAGLE
ネットイーグル株式会社
https://www.neteagle.co.jp
■本　社 050-3536-5961 福岡県福岡市西区小戸3-54-50
■中部テクノセンター 050-3538-0221 名古屋市中区錦2-9-27 NMF名古屋伏見ビル11F
■東京CADセンター 050-3533-2894 東京都港区芝浦2-14-4 オアーゼネクサス芝浦5F